

＝ 祈りの絆 ＝

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。 <http://www.bapren.jp/>

■遠野ボランティアセンター

あふれ出る涙拭う手
やすみなく

春がきて
山里みどり鳥の声

遠野ボランティアセンターから出かけていく大槌町小槌第4仮設住宅にもやっと春がきました。桜が咲き、山の緑が鮮やかでなんだかとてもまぶしい景色です。先日、仮設の皆さんと一緒に、テーブルを外に出し、庭で川柳を作りました。穏やかな気温だったので、仮設住宅のお庭での作業は、この間までの雪の日を忘れさせる楽しいひと時となりました。皆さん、とっても真剣な眼差しで、書いては消し、消しては書き、その途中であの日を思いだされたのか、涙をふきつつ紙に書いておられる方もいらっしゃいました。

地震による地盤沈下1m、土地のかさ上げ2.5m。防潮堤14・5m、復興まで8年の歳月がかりです。気持ちがついて行きませぬ。「8年先はもう生きていねえべ」とうなだれる方と一緒に思わずため息がこぼれます。先月は、吉里吉里の仮設で孤独死された方がおられ、深い悲し

みと緊張が仮設全体に広がっていました。岩手、宮城、福島。どの県も、孤独死が増えているとのこと。なんとかして寄り添いたいと願います。川柳や短歌は、傷つき混乱した気持ちを自分の言葉で表すためにとても良い方法です。少しでもメンタルケアになることを祈りつつ過ごした仮設でのひとときでした。



◎それぞれにつくった川柳を手にして

■最近の活動報告

1. 支援委員会・チームの紹介

＝ 現地支援委員会 ＝
昨年3月11日の東日本大震災が起きた直後より、現在まで岩手、宮城、福島の3県で活動のスタイルは変わってきていますが、継続してボランティア活動が展開されています。その背後には、現地支援委員会、東日本大震災被災地支援委員会、遠野ボランティアセンター運営委員会、宮城、青森・岩手、福島各チーム会議等が、被災地の方々に寄り添うため

に定期的に開かれてきました。今回はその中から現地支援委員会を紹介いたします。

物資で一杯になっていました。今年度から始まる新しい保育形態に支障がでるために、園庭の隅に8畳の大きな倉庫を設置しました。

●現地支援委員会（委員長・鈴木牧人・郡山コスモス通り教会牧師）月に1度、青森・岩手チーム、宮城チーム、福島チームの各チームの活動報告、活動計画、予算等を協議し、また情報交換をします。そこでは、被災地の方にいかに寄り添うことができるか、また、教会の業としていく支援についてなど誠実に協議されています。被災地の現場は、刻々と変化していきます。その状況を把握しながら、キリスト者としてなんとか寄り添うことができるようにと、話し合う委員会の皆さんの姿に頭が下がります。そこから、また、片道3時間余りをかけて東北の教会は主と共に被災地にでかけていきます。ぜひ、その働きを覚えてお祈りください。

3. 海外からの応援

◎ハワイ・ワイライ

4月21日～29日、ハワイのチームが大富教会経由で宮城地区にきてくださいました。吉岡伝道所を宿舎として、牡鹿半島の鮎川仮設支援、鳴瀬幼稚園で子どもたちとの交流、大富教会で地元のコラスグループとの交流会、また、英語教室の子どもたちやそのご家族も交えて、ハワイアンフェスティバルが行われました。

◎ハワイ・ワイライバプテスト教会チーム

5月11日～20日、12日・酒田のぞみ伝道所のぞみキッズのお手伝い。13日・吉岡伝道所で礼拝。午後は仙台教会の青年たちとの交流会、14日・鮎川浜の保育園訪問。石巻の開成仮設住宅訪問。19日は宮城チームと牡鹿支援に合流。20日は大富教会で礼拝と盛りだくさんの計画がたてられています。



◎ハワイ・ワイライバプテスト教会チーム鮎川浜仮設住宅訪問にて

2. 福島旭町

キリスト教会 倉庫設置

福島旭町教会付属こひつじ幼稚園の保育室の1部屋が、海外、あるいは近隣からの支援



◎現地支援委員会のミーティング



◎新しく建てられた倉庫

◎カリフォルニア・バプテスト大学チーム

5月11日～20日、12日・酒田のぞみ伝道所のぞみキッズのお手伝い。13日・吉岡伝道所で礼拝。午後は仙台教会の青年たちとの交流会、14日・鮎川浜の保育園訪問。石巻の開成仮設住宅訪問。19日は宮城チームと牡鹿支援に合流。20日は大富教会で礼拝と盛りだくさんの計画がたてられています。

（現地支援担当・金子千嘉世）

東日本大震災被災地支援募金のお願い

2011年度の決算をいたしました。募金へのご協力を心から感謝申し上げます。

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教学人日本バプテスト連盟総務部」

※「東日本大震災被災地支援募金」と明記してください。

※募金は極力、教会単位でご送金ください。海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。

2011年度献金額（3月末決算）161,260,251円
内、海外から75,869,632円が寄せられています

※正確な会計報告書を現在作成中です。今後の全国発送でお知らせいたします。2011年度募金の目標総額は1億3000万円でした。使途の目安は①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援（30%）、②被災地支援（50%）、③現地スタッフ／ボランティア活動費／事務局費（20%）として用いられます。

すでに目標額に達していますが、2013年度までの3年間で1億7000万円の募金目標総額が昨年の定期総会で決めています（2011年度1億3000万円、12年度2000万円、13年度2000万円）。今後もぜひ、本募金のためにご協力ください。

●活動支出の内訳（3月末決算）●

- ①被災地教会支援（建物修理、お見舞い他） 15,841,582円
 - ②被災地教会活動支援（支援車両、現地支援委員会を通しての被災地支援活動） 24,502,635円
 - ③被災地支援（連盟による支援活動、遠野センターなど） 32,090,958円
 - ④本部活動（スタッフ、事務・会議費など） 15,028,675円
 - ⑤海外・他団体との協働（三バプテストなど） 4,097,074円
 - ⑥その他（送金手数料など） 185,759円
- 合計 91,746,683円

●●祈りの課題●●

- ①息の長い支援活動が展開されていくように。
- ②連休中の大雨で釜石、大槌町の仮設住宅で浸水被害を受けた地域の復旧がすみやかにおこなわれるように。
- ③孤独死、自死を防ぐことができるように。
- ④教会の業としての支援活動が豊かに展開されていくように。
- ⑤福島第一原発事故の収束を覚えて。